

大阪府工業指数2025年4月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…85.1 前月比▲5.0% 2か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、輸送機械工業、汎用・業務用機械工業など10業種が低下し、石油・石炭製品工業、その他工業など4業種が上昇した。

品目別にみると、鉄道車両部品、ビール・発泡酒等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲8.6%と9か月連続の低下となった。

(2) 出荷指数…86.3 前月比▲3.9% 2か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、食料品工業、金属製品工業など7業種が低下し、鉄鋼・非鉄金属工業、電気・情報通信機械工業など7業種が上昇した。

品目別にみると、ビール・発泡酒、鉄道車両部品等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲7.8%と9か月連続の低下となった。

(3) 在庫指数…102.8 前月比0.5% 3か月連続の上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、生産用機械工業、石油・石炭製品工業など6業種が上昇し、汎用・業務用機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業など7業種が低下した。

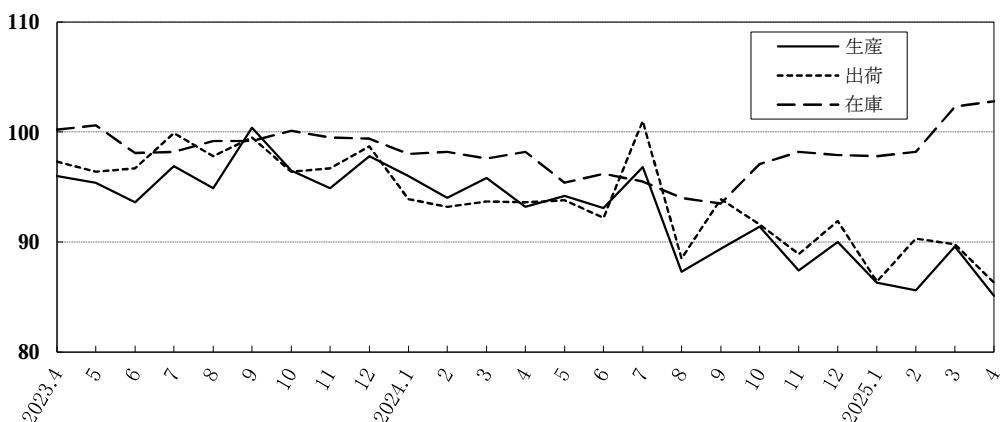
品目別にみると、ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、4.7%と2か月連続の上昇となった。

区分		季節調整済指数		原指數	
		前月比(%)	前年同月比(%)	前月比(%)	前年同月比(%)
生産	2025年3月	89.6	4.7	95.5	▲6.6
	2025年4月	85.1	▲5.0	86.7	▲8.6
出荷	2025年3月	89.8	▲0.6	97.5	▲4.2
	2025年4月	86.3	▲3.9	87.8	▲7.8
在庫	2025年3月	102.3	4.2	98.1	4.8
	2025年4月	102.8	0.5	100.5	4.7

生産・出荷・在庫の推移

数値は季節調整済指数



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産

前月比

▲ 5.0%

上昇

4 業種

低下

10 業種

横ばい

0 業種

計

14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	石油・石炭製品工業	0.769	13.9	軽油、精製・混合原料油
	その他工業	0.198	3.2	金属製家具、繊維板・パーティクルボード
	プラスチック製品工業	0.153	4.6	プラスチック製機械器具部品、 プラスチック製フィルム・シート
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.048	2.8	紙器用板紙
	その他の上昇した品目			ウイスキー【食料品工業】、 医薬品【化学工業】
低下	輸送機械工業	▲ 1.983	▲ 33.9	鉄道車両部品、鉄道車両
	汎用・業務用機械工業	▲ 1.173	▲ 13.3	汎用内燃機関、パッケージ形エアコン
	金属製品工業	▲ 1.161	▲ 10.5	飲料用アルミニウム缶、ばね
	電気・情報通信機械工業	▲ 0.703	▲ 9.2	セパレート形エアコン(室外)、 リチウムイオン蓄電池
	食料品工業	▲ 0.676	▲ 6.6	ビール・発泡酒、チョコレート
	化学工業	▲ 0.545	▲ 3.6	合成ゴム、フルオロカーボン
	生産用機械工業	▲ 0.361	▲ 3.0	化学機械、超硬工具
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲ 0.173	▲ 1.5	普通鋼H形鋼、鋼半製品
	電子部品・デバイス工業	▲ 0.052	▲ 10.4	-
	窯業・土石製品工業	▲ 0.038	▲ 2.9	研削砥石、耐火れんが
その他の低下した品目				ショベル系掘削機械【生産用機械工業】、 重油【石油・石炭製品工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	ウイスキー	食料品工業
	2	軽油	石油・石炭製品工業
	3	医薬品	化学工業
	4	機械プレス	生産用機械工業
	5	橋りょう	金属製品工業
	6	シャシー・車体部品	輸送機械工業
	7	精製・混合原料油	石油・石炭製品工業
	8	プレス用金型	生産用機械工業
	9	装輪式トラクタ	生産用機械工業
	10	アルミニウムはく	鉄鋼・非鉄金属工業
低下	1	鉄道車両部品	輸送機械工業
	2	ビール・発泡酒	食料品工業
	3	汎用内燃機関	汎用・業務用機械工業
	4	化学機械	生産用機械工業
	5	鉄道車両	輸送機械工業
	6	超硬工具	生産用機械工業
	7	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	8	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	9	チョコレート	食料品工業
	10	合成ゴム	化学工業

(2)出荷 前月比 **▲ 3.9%** 上昇 **7 業種**
 低下 **7 業種** 横ばい **0 業種** 計 **14 業種**

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	鉄鋼・非鉄金属工業	0.487	3.8	伸銅製品、特殊鋼熱間鋼管
	電気・情報通信機械工業	0.462	7.9	リチウムイオン蓄電池、電気計器
	その他工業	0.251	4.3	マーキングペン、クレヨン・パス・水彩絵の具
	石油・石炭製品工業	0.151	1.7	軽油、精製・混合原料油
	プラスチック製品工業	0.121	2.8	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製フィルム・シート
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.039	2.4	段ボール原紙
	電子部品・デバイス工業	0.031	8.0	電子回路基板
その他の上昇した品目				ウイスキー【食料品工業】、橋りょう【金属製品工業】
低下	食料品工業	▲ 2.007	▲ 17.9	ビール・発泡酒、新ジャンルビール
	金属製品工業	▲ 1.677	▲ 13.7	飲料用アルミニウム缶、架線金物
	輸送機械工業	▲ 1.336	▲ 20.1	鉄道車両部品、鉄道車両
	汎用・業務用機械工業	▲ 0.837	▲ 9.1	冷凍・冷蔵ユニット(除、輸送機械用)、エアハンドリングユニット
	生産用機械工業	▲ 0.567	▲ 6.2	ショベル系掘削機械、化学機械
	化学工業	▲ 0.133	▲ 1.1	合成ゴム、ふつ素樹脂
	窯業・土石製品工業	▲ 0.060	▲ 5.6	ファインセラミックス(構造材)、電気用陶磁器
その他の低下した品目				ガソリン【石油・石炭製品工業】、セパレート形エアコン(室外)【電気・情報通信機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

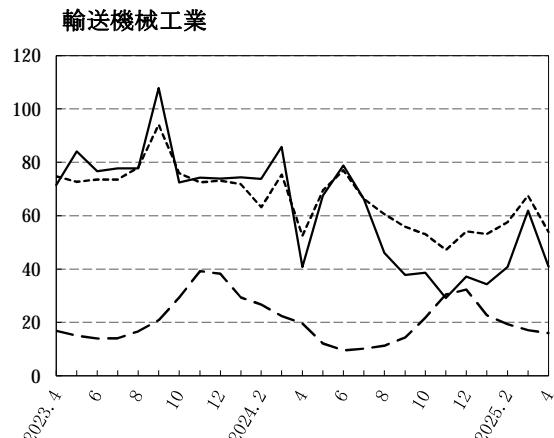
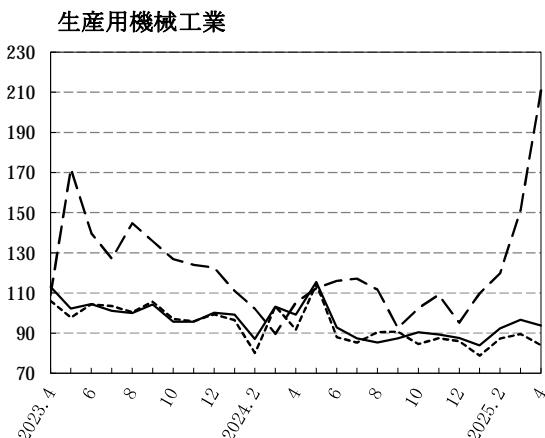
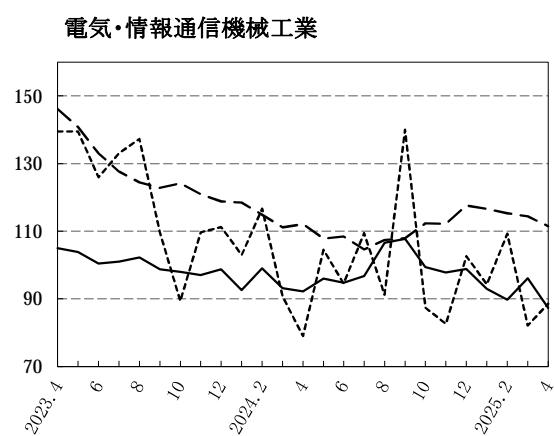
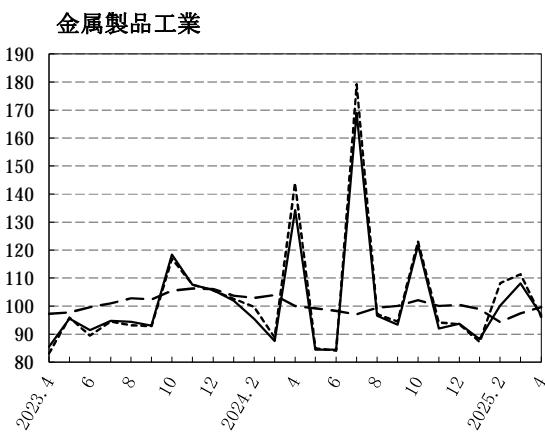
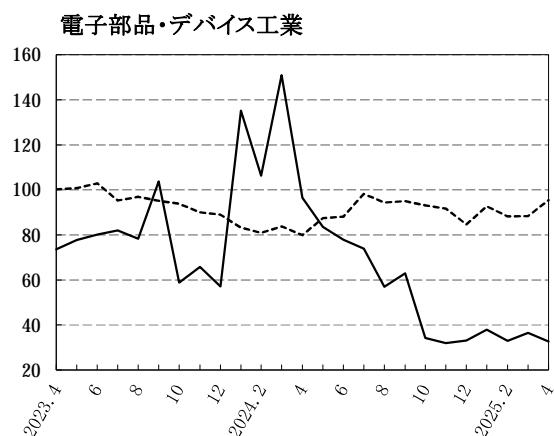
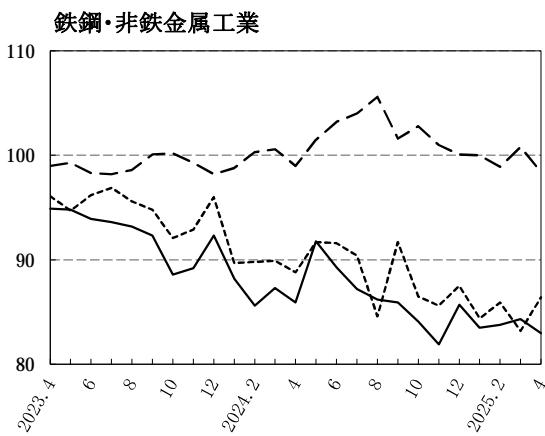
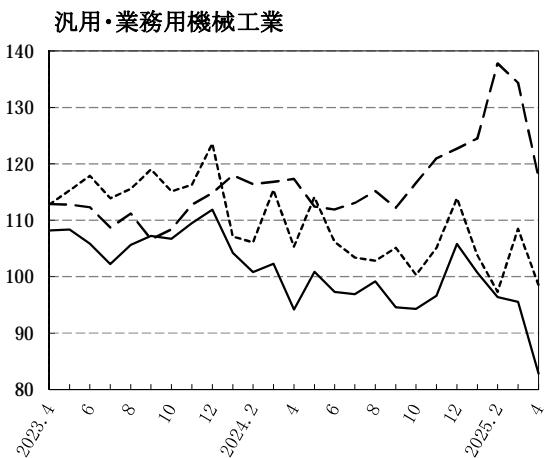
(3)在庫 前月比 **0.5%** 上昇 **6 業種**
 低下 **7 業種** 横ばい **0 業種** 計 **13 業種**

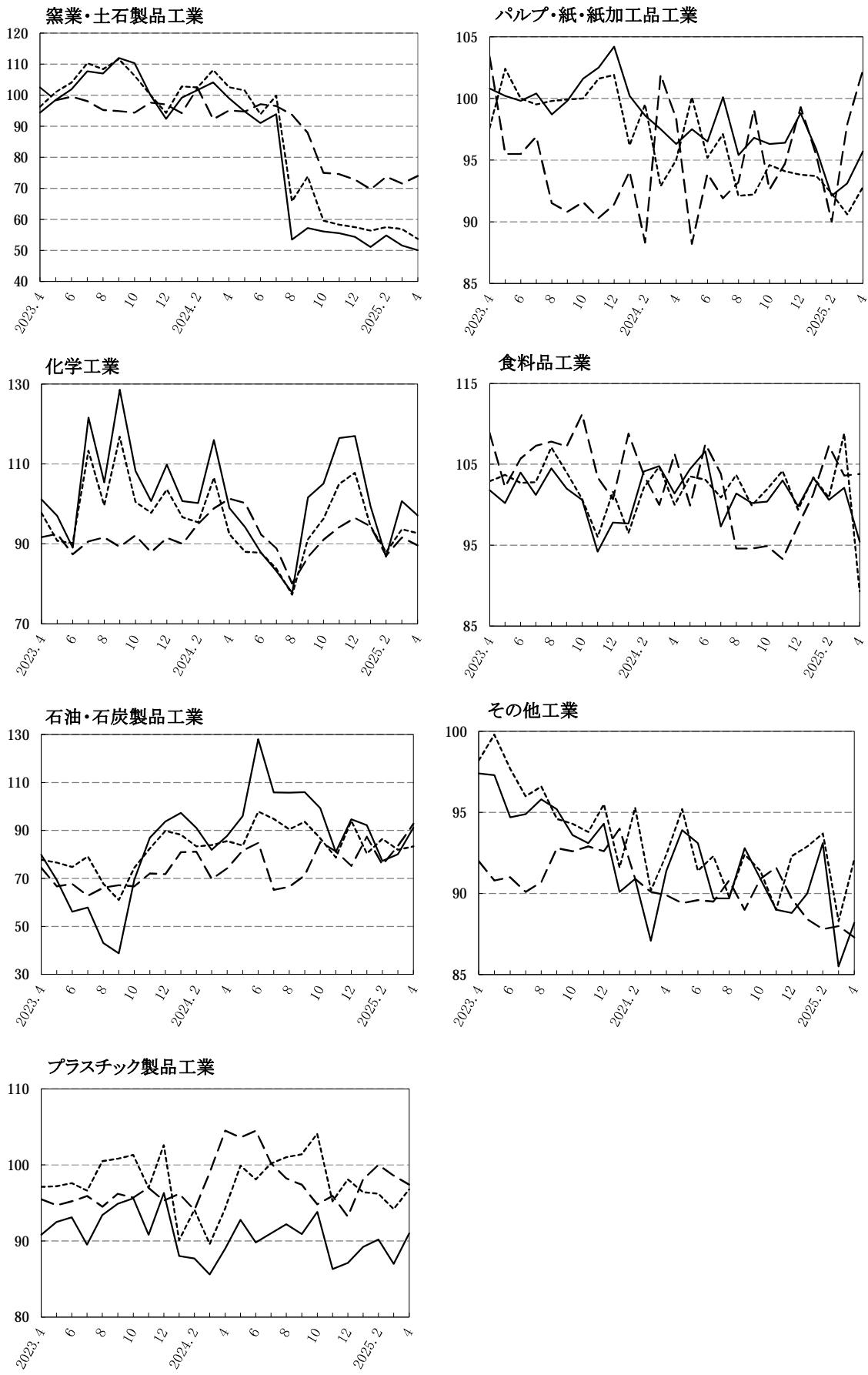
区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	生産用機械工業	4.160	39.4	ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	石油・石炭製品工業	0.385	11.1	軽油、重油
	金属製品工業	0.188	2.2	飲料用アルミニウム缶、産業用アルミニウム製品
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.047	4.5	段ボール原紙
	窯業・土石製品工業	0.026	3.5	ファインセラミックス(構造材)、電気用陶磁器
	食料品工業	0.009	0.2	ハム・ソーセージ
	その他の上昇した品目			鋼半製品【鉄鋼・非鉄金属工業】、LED器具(除、自動車用)【電気・情報通信機械工業】
低下	汎用・業務用機械工業	▲ 1.195	▲ 12.4	汎用内燃機関、冷凍・冷蔵ユニット(除、輸送機械用)
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲ 0.567	▲ 2.4	普通鋼H形鋼、特殊鋼熱間鋼管
	電気・情報通信機械工業	▲ 0.318	▲ 2.5	セパレート形エアコン(室外)、蛍光ランプ
	化学工業	▲ 0.282	▲ 2.2	フェノール、フルオロカーボン
	プラスチック製品工業	▲ 0.050	▲ 1.2	プラスチック製パイプ、プラスチック製フィルム・シート
	輸送機械工業	▲ 0.049	▲ 6.4	-
	その他工業	▲ 0.045	▲ 0.8	タフティッドカーペット、クレヨン・パス・水彩絵の具
その他の低下した品目				柔軟仕上げ剤【化学工業】、工業用ミシン【生産用機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

3 業種分類別の推移

数値は季節調整済指数
2020年=100
生産
出荷
在庫



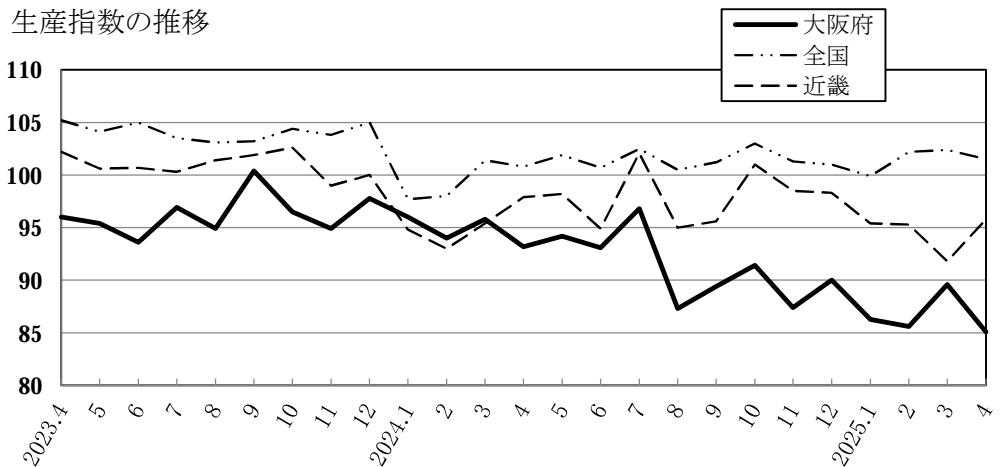


4 全国・近畿の状況(速報)

2020年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生 産	85.1	▲5.0	101.5	▲0.9	95.8	4.4
出 荷	86.3	▲3.9	99.9	0.2	95.4	6.4
在 庫	102.8	0.5	101.6	▲0.5	111.8	▲0.2

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2020年(令和2年)です。

2020年(令和2年)基準の指数値は、2024年1月速報(2024年3月29日公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」……負数であることを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向を見る場合には原指数、前月比や足下の動向を見る場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

寄与度については、計算の過程で季節調整等の要素による誤差が発生するため、寄与度の合計値は製造工業全体の増減値と一致しない場合があります。

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2023年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2024年8月速報(2024年10月31日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正是毎年実施しますので、2024年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/o040090/toukei/iip/index.html>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL: 06 (6210) 9195 (直通)